

答弁書第九号

内閣参質七一第九号

昭和四十八年七月二十四日

内閣総理大臣 田中角榮

参議院議長 河野謙三殿

参議院議員峯山昭範君提出P C B・水銀汚染等に関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。

参議院議員峯山昭範君提出P C B・水銀汚染等に関する質問に対する答弁書

一 水銀汚染対策について

1 について

(イ) について

現在、国内の水銀生産地は、北海道と奈良県であり、うち北海道には、北進鉱業竜昇殿事業所、野村鉱業イトムカ事業所の二事業所、奈良県には、大和金属鉱業大和水銀事業所がある。

(ロ) について

年度別水銀生産量は、非鉄金属等需給年報によれば、四十五年度二百三トン、四十六年度二百二十八トン、四十七年度百七十九トンであり、その内訳は、別紙一のとおりである。

(ハ) について

年度別輸入量は、通関統計によれば、四十五年度九百九十九トン、四十六年度三百六十八トン、四十七年度五百二十九トンとなっており、その主要な輸入先は、スペイン、メキシコ、フィリピンである。

2 について

(イ) 及び (ロ) について

(a) 生産工程で触媒等として使用している業種としては、電極用として水銀法電解ソーダ製造業、触媒用としてアセチレン法塩化ビニルモノマー製造業等がある。また、過去において、水銀を触媒として使用していたものにアセチレン法アセトアルデヒド製造業があり、これらのリストは、別紙二のとおりである。これらについては、現在その実態を調査中である。

(b) また、水銀を使用している主要な製品としては、体温計、水銀温度計、蛍光灯、水銀灯、電池、無機薬品、医薬品等がある。これらの主要なものについては、現在その実態を調査中であり、その他のものについても早急に工場リストを整備し、実態調査を行うこととしている。

(イ)について

水銀の在庫量及び保管状況については、現在、主要業種について、工場の立入調査を実施中である。また、今後主要企業については、定期的にその受入量、使用量、在庫量等の収支を報告させることとしており、現在準備を進めているところである。

## 二 PCB汚染対策について

### 1及び2について

(a) PCB自体の生産は、四十七年六月をもつて中止されており、したがってPCBを使用した製品の新規供給もごく一部の例外使用(用途が明確であり、かつ、回収等に万全を期しうるもの)を除いては、中止されている。

(b) 過去において、PCBを使用した製品としては、感圧紙、塗料、印刷インキ、接着剤、潤滑油添加剤、難燃剤、トランス、コンデンサ等があり、量的には、極めて少量であるが、テレビ、電子レンジ等の家電製品の一部にもPCB入りのコンデンサが使用されていた。

(c) その使用量については、電気機器用三万七千七百トン、熱媒体用八千六百トン、感圧紙用五千四百トンその他開放系用二千九百トン、輸出用五千三百トンが出荷された。このうち、家電製品に使用されたPCBは、テレビ、電子レンジ、ルームクーラーの三品目で約六百トン程度と推定される。

3について

(a) 液状PCBについては、約四千トンがPCB製造業者(二社)に回収され、現在タンク等に厳重保管されており、県の指示をまつて、焼却の予定である。

(b) 感圧紙については、感圧紙メーカー四社に紙量で約千二百トン、官公庁に紙量で約千百トンが回収及び保管されており、処理技術の研究開発をまつて、処理を行うこととしている。

(c) また、重電用トランス・コンデンサは閉鎖系であり、かつ、製品の耐用年数が長いため、直ちに回収を要する事態にはないが、万全を期すため、所有者が、厳重に保管管理を行うよう指導している。更に、無害化処理技術を確立するため、指導により、業界において基礎研究を実施しているところであり、近く、(財)電機PCB処理協会を発足させ、処理体制の万全を期すこととしている。

(d) PCB入りコンデンサを使用した家電製品については、PCB使用量はごく少量であるが、その

処理については、今後更にその万全を期すべく、家電関係製品名を明らかにし、関係業界と地方公共団体との協力体制を整備する等の具体策を確立することとしている。

別紙一

年度別水銀生産量

	四十五年 度	四十六年 度	四十七年 度
国内 鉍 出	一七三トン	一八五トン	一七九トン
海外 鉍 出	—	二四トン	—
その他	三〇トン	一九トン	—
計	二〇三トン	二二八トン	一七九トン

別紙二

水銀法電解ソーダ製造工場

会社名	工場名	所在地
北海道曹達株	幌別	北海道登別市
日新電化	酒田	山形県酒田市

信越化学	日本曹達	電気化学工業	関東電化工業	セントラル化学	昭和電工	味の素	旭電化工業	旭硝子	日本塩化ビニール	千葉塩素化学	鹿島電解	保土谷化学	呉羽化学工業	鉄興社
直江津	二本木	青海	渋川	川崎	川崎	川崎	尾久	千葉	千葉	千葉	鹿島	郡山	錦	酒田
" "	" 中頸城郡	新潟県西頸城郡	群馬県渋川市	" "	" "	神奈川県川崎市	東京都荒川区	" 市原市	" 君津郡	千葉県市原市	茨城県鹿島郡	" 郡山市	福島県いわき市	" "

日本カーバイド	魚津	富山県魚津市
鉄興社	富山	" 富山市
東亜合成化学	高岡	" 高岡市
日本曹達	高岡	" "
日軽化工	蒲原	静岡県庵原郡
三井東洋化学	名古屋	愛知県名古屋市
東亜合成化学	名古屋	" "
三菱モンサント化成	四日市	三重県四日市市
四日市東曹	四日市	" "
旭硝子	関西	大阪府大阪市
三菱瓦斯化学	浪速	" "
大阪曹達	尼崎	兵庫県尼崎市
三井泉北石油化学	泉北	大阪府高石市
南海化学工業	和歌山	和歌山県和歌山市
鐘淵化学工業	高砂	兵庫県高砂市

住友化学工業	岡	岡山	岡山県倉敷市
関東電化工業	水	水島	"
菱日	水	水島	"
岡山化成	水	水島	"
山陽国策パルプ	岩	岩国	山口県岩国市
徳山曹達	徳	徳山	" 徳山市
東洋曹達工業	南	南陽	" 新南陽市
東亜合成化学	徳	徳島	徳島県徳島市
東亜合成化学	坂	坂出	香川県坂出市
大阪曹達	松	松山	愛媛県松山市
旭硝子	北	北九州	福岡県北九州市
三菱化成工業	黒	黒崎	"
大阪曹達	小	小倉	"
三井東洋化学	大	大牟田	" 大牟田市
住友化学工業	菊	菊本	愛媛県新居浜市



住友化学工業  
旭化成工業

大分  
延岡

大分県大分市  
宮崎県延岡市

アセチレン法塩化ビニールモノマー製造工場

会社名

工場名

所在地

日本ゼオン

高岡

富山県高岡市

呉羽化学

錦

福島県いわき市

信越化学

直江津

新潟県上越市

電気化学

青海

〃 青海町

アセチレン法塩化ビニールモノマーを過去に製造していた工場

会社名

工場名

所在地

チツソ

水俣

熊本県水俣市

日本カーバイド

魚津

富山県魚津市

住友化学工業

菊本

愛媛県新居浜市

アセチレン法アセトアルデヒドを過去に製造していた工場

会社名	工場名	所在地
日信化学	武生	福井県武生市
鐘淵化学工業	大阪	大阪府摂津市
群馬化学	渋川	群馬県渋川市
三菱モンサント化成	四日市	三重県四日市市
三井東圧化学	名古屋	愛知県名古屋市中
鐘淵化学工業	高砂	兵庫県高砂市
鉄興社	酒田	山形県酒田市
東亜合成化学	徳島	徳島県徳島市
日本ゼオン	蒲原	静岡県蒲原市
東亜合成化学	高岡	富山県高岡市
東亜合成化学	名古屋	愛知県名古屋市中
旭ダウ	延岡	宮崎県延岡市

チツソ  
水俣  
熊本県水俣市

電気化学	鹿瀬電工	鉄興社	日本合成化学工業	日本合成化学工業	ダイセル	三菱瓦斯化学
青海	新潟県西頸城郡	東蒲原郡	山形県酒田市	岐阜県大垣市	熊本県宇土市	新潟県新井市
青海	新潟県西頸城郡	東蒲原郡	山形県酒田市	岐阜県大垣市	熊本県宇土市	新潟県新井市
酒田・大浜	大垣	熊本	新井	松浜		